

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 墓地管理経費（墓参バス借上げ料）
-------------------	-------------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	5	葬斎場・墓地の整備
主要な施策	2	墓地の整備
事務事業番号	003	事務事業コード 22152003 事業開始年度 昭和 - 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	墓地管理経費
------	------	------------	--------

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスG
-----	-------	-------	---------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> 富浦墓地及び第二富浦墓地墓参者
手 段 （ 事 業 の 内 容 ・ 活 動 ）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> 富浦墓地及び第二富浦墓地は近くに駅及びバス停等がないことから、墓参困難者を救済するため、お盆時季に無料墓参バスを運行する。 【平成 2 1 年度実績】 ・運行日 平成 2 1 年 8 月 1 3 日（木） ・運行台数 7 台 ・乗車人数 7 9 人
目 指 す 姿 （ 成 果 ）	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> 富浦墓地及び第二富浦墓地の墓参困難者の救済を図る。
根 拠 法 令 等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p>

指標の推移

区 分		単 位	区 分	21年度 実 績	22年度 目 標	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標
成果 指標	乗車率	%	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	34				
	乗車人数	人	目標値	231	172	172	172	172
			実績値	79				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	189	120	120	120	120	360
合 計				189	120	120	120	120	360
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	73	73			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		73	73			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしもが事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 利用者数は減少傾向にあるが、民間等での代替手段がなく、墓参困難者の救済制度としては有効である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 便数の減少や自家用車の普及等の影響もあり、乗車数は減少傾向にあるものの、墓地利用者の高齢化により墓参困難者が増える要因はあり、当該バスが無いと墓参できないとの声もあるため、一定程度の成果はあがっていると考える。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 利用者数の減少から運行台数を縮減しているが、各運行経路を再検討することで、利用者数の増加に繋がる可能性があるため、今後においても運行経路の検討が必要である。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 年々減少している利用者数を勘案し、平成22年度よりバスの運行台数を7台から4台に縮減したことで、経費削減を図っている。今後も利用状況を注視した中で、運行台数の縮減等を検討していく。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	年々利用者は減少している（平成21年度においては雨天の影響もあったと思われる）が、当該墓地は市街より遠隔にあり、バス停留所からの距離が遠く墓地まで急な坂道であることから交通手段を持たず墓参が困難な方の不便を解消するために本事業を実施している。また、民間等での代替手段がないため、今後も利用状況等を注視した中で、運行台数の縮減及び運行経路の見直し等に努める。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）